



# ササラまつり ～雨ニモマケズ～



平成 27 年 9 月 1 日現在

世帯数	946 戸
人口	2,435 人
男	1,221 人
女	1,214 人

毎年恒例の「ササラまつり」が、八月十四日に行われました。昼の激しい雨で開催できず、心配でしたが、じきに雨も上がり夕方には暑さも和らぎ、踊るには最高の気候となりました。

午後五時から、「子どもササラまつり」が始まり、子ども会の駄菓子屋や輪投げに、小さな子どもの列ができます。中学生が上手に相手をし、笑顔がこぼれます。それに負けじと大人たちも、綿あめ、かき氷と慣れない手付きで奮闘しますが、なかなか思う様にはいきません。

六時三十分、開会式が行われササラおどりのスタートです。尺八、三味線の生演奏に太鼓の音と、雰囲気盛り上がりです。何年ぶりかで、ササラを手に踊りの連に加わりました。踊りを覚えるには少し時間がかかりましたが、踊れる様になると楽しくなってきます。周りで多くの人が見



ていましたが、踊ってこそのお祭りです。歌の歌詞ではありませんが、「踊らにゃ損損」ということで、是非来年は参加してみませんか。

踊りの時間も終わり、夜店が開店すると、更に賑わいが増します。何処の店も大繁盛といった様子から、ビンゴ大会が始まると、全員の視線は、数字が書かれたホワイトボードに釘付けとなり、次の数字に聞き耳をたてます。「ビンゴ」声に会場はどよめき、最高潮を迎えます。

時間が経つのは早く、九時を迎え閉会式をもって全てのイベントが終了しました。大変多くの人の参加を得て、今年も良いお祭りとすることができました。ご協力をいただきました。本当にありがとうございます。

第五町会 横山周次

## 子どものための防災訓練・宿泊体験



ハイゼックスを使った炊飯体験

恒例となった「子どものための防災訓練・宿泊体験」が今年も開催されました。災害時の食体験を経て、講義形式で防災について学び、避難所運営などの体験もしました。一緒に参加した大人はワーク

災害を防ぐために、自分がどのような行動をとった方がいいのかを学ぶことができてよかった。

実際におきた映像を見たときは、本当におこったのかと疑ったけど、どんな状況にも対応できるようにしたい。

部屋は涼しかったけど実際はあんなに涼しくないから、もっと工夫して過ごしたかった。

カレーをつくったときは、しっかりとみんなまで協力しておいしいカレーをつくれてよかった。

平井利空



ダンボールで避難所づくり

シヨップ形式で図上訓練を行いました。

実践的な訓練を地域で行うことで、気づくこともあったかと思えます。

今年も子どもたちの感想文を一部、紹介いたします。

もし、本当にこんな地震がおこったらこんなにも大変な生活をしないと、いけないんだなと思うと、しっかり訓練をして、本番がいつくるかわからないけど（おこってほしくない）、きたら、訓練をいかして、しっかりとみんなのためになる人になりたい。

ダンボールで家をつくる時は、しっかりとみんなと協力できて、いろんな所をすぐくくふうしていて、いいと思いました。

あと、中学一年生になってもこれならきたいです。

本阿隼



# 白馬岳山歩き園の旅

去る七月二十五日公民館事業の白馬岩岳ゆり園へのバスハイクが実施されました。

今年の夏は各地で猛暑日が更新されているニュースが多く聞かれました。松本も八月のお盆前までは、真夏日が続き熱中症が心配される毎日でした。

そんな時バスハイクの計画を知り早速申し込みました。申込者多数となり受け付けてもらえないか心配しましたが、幸いにも当初計画した市のバスよりも大型のバスを借りることが出来たようです。

しばらく振り顔と顔を合わせる友人や福祉広場で顔を合わせる方、また子どもたちが学校に通っていた頃 P T A で一緒だった方々など多彩な顔ぶれの三十一名を乗せて、涼を求め白馬へと出発しました。

そういえば白馬はあれから四十一年のりと長野オリンピックの時、日本が金メダルをとったジャンプ競技を、降り積もる雪の中応援しながら雄大な雪景色に圧倒され吸い込まれそうになったことを思い出します。その同じ山々で、迎えてくれたのは、白馬山麓一帯を見渡せる夏の大パノラ

マでした。

夏空を駆け抜ける真っ白な雲と一面に広がるお花畑のマウンテンビューに再び吸い込まれそうな感覚に陥りました。北アルプスの絶景を眺めながら足を一歩踏み出せば白馬岳の雪渓に届きそうな錯覚と、ほのかに香るゆりや自然の匂いを感じながら涼風とともに木漏れ日の中、マイナスイオンを五感いっぱいを感じ大自然を満喫した癒しの一日でした。

第五町会 丸山洋子



# トウモロコシ

## もぎ取りまつり

八月九日、連日の猛暑の空の下、内田営農「トウモロコシもぎ取りまつり」が馬場家住宅前の畑で行われました。

今年はトウモロコシのお値段が少々高めと聞いていたので、五百円の入場料で十本持ち帰ることができるのはうれしいことです。

家族連れで大勢見えていて、三百名ほど来場されたそうです。手に持ったビニール袋いっぱいのおとうもろこしが重そうでした。

トウモロコシは「マックコーン」という種類で、五月末にまかれたそうです。まいから二カ月ちよつとで食べられるなんてすごいなあと思いつつ一面のおとうもろこし畑をながめました。畑の管理も大変なことだったと思います。

約六千本のトウモロコシがあったようですが、わずかに一時間でもなくなってしまう楽しみにされる方は、早めに行かれたほうがよいと思います。家に帰って、早速ゆでてい



ただきました。ゆで上がりの良い香りとともに歯ごたえと甘さを楽しみました。獲りたては最高でした。

二町会 中島佳代子

# つれづれ編集記

私は職業柄、青果物の輸送を手掛けているので、市場価格をリアルタイムに知る事が出来ます。今年の春野菜は、出始めから高値が続きました。特に白菜はこの松本平では不作ではなかったのですが、一箱(五玉入)四千円台から始まり、中盤まで三千円台を維持し、終盤まで二千円台で出荷が終わりませんでした。こんな年は経験がありません。

農家のみなさんが出荷する姿を生で見る機会が多い私は、価格によって笑顔が多くなり、高齢の方の腰がまっすぐに伸びているように思えました。また、ブロッコリーも出始めから現在に至るまで高値で推移しています。今年は特に梅雨時期の雨量が多く、日照不足の影響で、全国的に野菜が不足しているように、農家の人たちは大変な苦労をしているようですが、価格が高値安定していることが救いでしょうか。

八月も中旬を過ぎると、ブドウやリンゴなど果物が出荷されるようになりましたが、今夏の猛暑で高温障害が発生し、リンゴの色づきが悪いようで心配されます。秋を迎えて天候不順などがなく、おいしい果物・野菜の出荷が出来ますようお願いいたします。

三町会 加藤昭仁